

第2回かわさきコンパクト委員会 議事録

日 時：2009年9月29日（火）午後3時～5時

場 所：いさご会館 4階 第3会議室

出席者：〔委員〕小倉、庄司、瀧田、岩森

〔川崎市〕地球環境推進室

〔事務局〕NPO法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク

1．開会

委員長から開会のあいさつ。

2．配布資料確認

事務局から配布資料の確認を行った。

3．報告事項

(1) ビジネス・コンパクト継続企業の報告

事務局から資料1に基づき継続手続きが必要な企業が二社（旭化成ケミカルズ株式会社、川崎信用金庫）であること、一社は継続手続きが進行中で、一社は稟議中であることが報告された。

(2) ビジネス・コンパクト前期プロモーション

事務局から資料1に基づき前期のビジネス・コンパクトプロモーション状況を報告。説明に出向いたのは八社で、そのうち一社が新規参加につながり、一社は社内で検討中であることが報告された。

(3) 「今から1年でできる情報発信のレシピ」の開催

資料2に基づき7月16日に開催した市民コンパクトセミナーの報告を行った。委員長から参加者が増えて裾野が広がっているとの感想があった。

4．審議事項

(1) 市民コンパクト参加プログラム確認

事務局から事前集約した確認表をもとに、今回確認対象の全11団体14プログラムに対する各委員の確認内容が報告された。すべてのプログラムにおいて、市民コンパクトの原則に基づいた内容であることを確認した。

今回、プログラムごとに申請書を提出している団体、複数プログラムをまとめて一つの申請書で応募している団体があったことについての取扱いを検討した。結果、複数プログラムごとに申請されていても、一団体につき参加証、参加番号、担当窓口は一つとした。来年度は、複数プログラム申請にかかるルールを決めることを確認した。

事務局から組織でなくプログラムで市民コンパクトへ参加することを明瞭にするため、参加証

の文面をその趣旨に一部変更する提案があり、承認された。

(2) ビジネス・コンパクト新規企業審査

事務局から今回の審査対象は一社（株式会社カワデン）であることと、事前集約した審査表についての報告があった。評点の合計は46点で、平均点（45点）以上となりビジネス・コンパクトのパートナー企業として登録することを承認した。

異業種で同名の会社が川崎市内にあることが委員から指摘されたが、参加単位が事業部なのでそこの区別が付き問題はないという意見でまとまった。

(3) かわさきコンパクト今後の取り組みについて

事務局から資料5をもとに今後の取り組みについて提案があり、大筋で承認された。

承認あるいは決定された内容は以下の通りである。

- 第2回市民コンパクトセミナーについて、日時、場所、主催を確認した。かわさき市民活動センターを使用するにあたって、当センターの後援を取る必要があり、委員会で申請を提出することが承認された。
（日時）11月19日(木) 午後2時～
（場所）かわさき市民活動センター A・B
（主催）かわさきコンパクト委員会 / 川崎市
- 3月のかわさきコンパクトフォーラムについて、日時、場所、内容の概要を確認した。内容や時間などは、今後自治推進フォーラムの実行委員会で討議していく内容であること、委員会として実行委員会に具体的な企画を提案していくことを確認した。
- 11月開催のビジネス・コンパクトセミナーの日時、場所、内容などを確認した。

今後の取り組みについて以下の意見が出された。

かわさきコンパクトフォーラムについて

- コーヒータイムなどを設けて、市民活動団体と企業の交流を推進する場として、名刺交換など行われるような雰囲気づくりをしていきたい。できれば一時間くらいの時間を取りたい。
- 委員会からのパネル展示の他、企業側も活動をアピールする媒体や市民活動団体のちらしなど、かわさきコンパクトの理解を促すさまざまな切り口の展示があるといい。
- 冊子で活動報告を配布し、パネルディスカッションで内容を深めるのはどうか。
- 市民活動団体側も企業側も互い協働したいという思いはあるが、窓口が互いにわからないのが現状。マッチングの一つの場がかわさきコンパクトになればいい。
- 互いにプラスになるものがないと企業と市民活動団体の溝は埋まらない。両者がどういうものを提供し合えばいいのかを提案していきたいが、それが難しい。パネルディスカッションの中で試みていきたい。
- モトスミ商店街のエコバックは、いい事例になる。

- グローバルな視点での事例が欲しい。
- 企業の社会貢献として、市民と協力して実践している事例があるとわかりやすい。
- 市民活動団体側は支援して欲しいという意見が多いが、何を支援してほしいのか明確になってない。それを明確にして、パネルで明示するなど目的を明らかにしていくとその先につながる。

市民コンパクト、ビジネス・コンパクトの両セミナーについて開催目的への意見

- それぞれ対象が分かれており、各セミナーは片方しか集まらない。それでは両者の溝は埋まらない。交流を深めていくことが大事なので、両者の交流を深めるテーブルを作ってほしい。
- 本音がわからない。ワークショップ後の先へつながるものが見たい。
- 企業と市民活動団体の双方にある敷居を取り払いたい。情報がうまく流れてない。一方通行なセミナー内容にならない工夫が必要である。
- ビジネス・コンパクトセミナーへ市民活動団体にも参加を促し、企業との接点を増やすのはどうか。
- ビジネス・コンパクトセミナーでは、ISO26000 を理解してもらい、企業の社会貢献への取組を広げるのが目的のひとつ。セミナーのなかで、市民活動団体と協働することを目指す展開になるので、その後のかわさきコンパクトフォーラムにつながると考えている。(市からの回答)

かわさきコンパクトの周知について

- 市でやっているさまざまな活動に、かわさきコンパクトの名称をつけて、庁内でのロゴ活用を進めている。適合しそうな活動に対して表にまとめたので、参照して欲しい。
- 11月開催の2つのセミナーを案内するチラシを作成し、10月中旬から広報を始める。チラシの配布ほか、かわさきコンパクトメーリングリストとホームページを使って案内する。
- 一枚のチラシに、市民コンパクトセミナーとビジネス・コンパクトセミナーの両方を掲載し、かわさきコンパクトとして、つながったセミナーであることをアピールする。
- リーフレットが残部僅少なので、増刷を事務局で検討する。
- 広報用ツールとしてプロモーション用のスライドを作成する。
- 11月に実施するセミナーのアンケートには、かわさきコンパクトに参加してよかったと思ったこと、かわさきコンパクトに期待すること、などを項目に入れる。
- かわさきコンパクトの原則に沿った市主催の事業を、かわさきコンパクト関連事業と位置づけてロゴを活用し、周知の一環としていきたい。

ロゴの使用規定について

- ロゴの積極的活用の基礎として、使用規定(案)が作成され事務局から説明があり、承認された。昨年度まではCDでの配布だったが、電子データで配信することを確認した。

事務局から

- 12月の委員会でもビジネス・コンパクトの審査と市民活動団体の参加プログラム確認を行う。

5．その他

(1) 次回委員会の日程

2009年12月21日 月曜日の午後予定。

会場については追って連絡。